

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	地域住宅計画 神奈川県地域
②都道府県名	神奈川県
③計画作成主体	神奈川県及び横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、相模原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村
④計画期間	平成 17 年度 ～ 22 年度
⑤計画の目標	『住宅セーフティネットの機能向上と、安全で安心して生活できる住まい・まちづくりを推進する。』 『快適な住まいづくりを推進するとともに、景観や環境に配慮したまちづくりを推進する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	神奈川県において評価を行い、計画策定主体である市町村に意見を照会したうえで確定（平成 23 年 5 月）
⑦事後評価の結果	<p>指標 1：「バリアフリー化住宅の割合」 定 義：神奈川県内におけるバリアフリー化された住宅の割合 ※ここではバリアフリー化とは、段差のない屋内をいう。 評価方法：住宅・土地統計調査の調査結果資料を用いた調査 結 果：従前値：15%（H15）⇒目標値：21%（H22）⇒<u>実績値：22%（H20）</u> 結果の分析：平成20年の住宅・土地統計調査（総務省）の結果では、実績値22%と従前値に比較して7ポイント上昇し目標値も上回り、着実に取組みの成果が上がっている。</p> <p>指標 2：「最低居住水準未満世帯の割合」 定 義：神奈川県内における最低居住水準未満世帯の割合 評価方法：住宅・土地統計調査の調査結果資料を用いた調査 結 果：従前値：6%（H15）⇒目標値：4%（H22）⇒<u>実績値：5%（H20）</u> 結果の分析：平成20年の住宅・土地統計調査（総務省）の結果では、実績値5%と従前値に比較して1ポイント改善されており、着実に取組みの成果が上がっている。</p> <p>指標 3：「住宅及び住環境に対する満足度」 定 義：住宅及び住環境に対する総合評価満足率 評価方法：住生活総合調査及び住宅需要実態調査の調査結果資料を用いた調査 結 果：従前値：67%（H15）⇒目標値：70%（H22）⇒<u>実績値：69%（H20）</u> 結果の分析：平成20年の住生活総合調査（国土交通省）の結果では、実績値69%と従前値に比較して2ポイント上昇しており、着実に取組みの成果が上がっている。</p>
⑧結果の公表方法	神奈川県及び県内市町村のホームページにて公表を行う。

3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等

⑨今後の住宅施策の取組への反映	<ul style="list-style-type: none">・ バリアフリー化については、今後一層の高齢化に対応していく必要があるため、公営住宅等のバリアフリー化や、既存の民間住宅改良工事に対する助成など、引き続き事業を実施していく。・ 最低居住水準未満世帯の割合については、一定規模以上の居住面積を有する公的賃貸住宅の供給や、的確な住情報の提供を行うなど、引き続き事業実施していく。・ 住宅及び住環境に対する満足度については、住宅のみならず、住環境・まちづくりに関する幅広い事業展開を図ることにより、その向上を目指していく。・ 東日本大震災を踏まえ、一層の建築物の耐震化に取り組むこととする。・ 引き続き神奈川県公共住宅供給推進協議会（地域住宅協議会）や神奈川県居住支援協議会において協議・情報交換を行うなど、県と市町村が連携して住宅施策の取組みに反映していく。
⑩その他	(特記すべき事項があれば記載)

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。